



# のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



## 特集 登別社協は 創立 60 周年を迎えました

9月26日のサロンサポーター連絡会では、北海道胆振東部地震の被災地で行われている足湯を体験。ふれあうことで会話と笑顔が生まれ、「今後のサロン活動でも取り入れたい」との声が聞かれました。

### CONTENTS

- P 2 特集 登別社協は創立 60 周年を迎えました
- P 4 歳末たすけあい運動が始まります
- P 6 きずなかわら版
- P 7 明日生との意見交換が行われました  
きずなのまちびと
- P 8 セブン・イレブン・ジャパンより寄贈を受けました  
寄付者のご紹介

 2019  
11.01 No. 143

[発行] 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会  
 [事務局] 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センターしんた21内  
 [TEL] 0143-88-0860  
 [FAX] 0143-88-4546  
 [mail] info@kizuna-shakyo.jp  
 [H P] http://kizuna-shakyo.jp/  
 [Facebook] https://www.facebook.com/kizunashakyo/



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています



# 特集

# 登別社協は創立60周年を迎えました

社会福祉協議会は「地域福祉を推進する団体」として法律に定められた民間の団体です。全国の都道府県と各市町村に設置されており、それぞれ特色のある福祉活動を推進しています。

登別社協は昭和34年に創立して以来、各種取り組みを進めており、現在は第3期登別市地域福祉実践計画（きずな計画）に基づき、住民主体による福祉のまちづくりを通じて、各種事業を推進しています。今回の特集では、これまで登別社協が市民と共に歩んだ歴史を振り返るほか、60周年を記念して行った取り組みを紹介します。

## 60周年を記念した メッセージVTRを作成しました！

これまでの登別社協の取り組みや、市民が描くこれからの地域福祉に向けた想いをまとめたメッセージVTRを、きずな推進委員で構成する作業委員会において作成しました。

完成したVTRは、登別社協のホームページにて公開しています。市民のきずなへの想いが詰まっておりますので、ぜひご覧ください。

出演いただいた企業やボランティア団体、学生の皆さん、ありがとうございました。



▲こちらからご覧ください。

## 市民と共に歩んだ60年

昭和34年	幌別町社会福祉協議会として創立（1月27日） 共同募金会設置（8月1日）	
昭和40年	全国社会福祉協議会優良社協として全国表彰	
昭和42年	法人化により社会福祉法人登別町社会福祉協議会となる	
昭和53年	チャリティー市民演芸会を市内3地区で開催	
昭和61年	福祉基金造成ビールパーティーを市内3地区で開催	
平成2年	第1回ふれあい広場のぼりべつ（現在のふれあいフェスティバル）開催 歳末ふれあい会食会開始	
平成4年	小地域ネットワーク活動推進事業開始	
平成5年	登別市ボランティアセンター設立	
平成8年	登別市ファミリーサポートセンター開設（市受託事業）	
平成12年	デイサービスセンター、介護サービス相談センター開設 ふれあいいきいきサロンモデル事業実施	
平成14年	ふれあい・子育てサロンモデル事業実施	
平成18年	登別市地域福祉実践計画「きずな」答申・策定 きずな推進委員会発足 登別市地域活動支援センター事業開始（市受託事業）	
平成20年	きずなサロンサポーター養成研修会開始	
平成23年	第2期きずな計画開始	
平成27年	小地域ネットワーク活動にきずな安心キット導入	
平成28年	第3期きずな計画開始	
平成29年	地域拠点丸ごと支え合い事業開始 鍵預かりサービス事業開始	



登別市社会福祉協議会創立60周年・登別市市制施行50周年記念

# 登別市社会福祉大会・ふれあいフェスティバル

9月1日、しんた21において、地域社会における「きずな」の推進を通し、社会福祉関係者をはじめ、市民参加による福祉のまちづくりの実現をめざすため、登別市社会福祉大会を開催しました。

これまで多年にわたり本市の社会福祉の発展に功労のあった個人・団体を表彰したほか、登別社協創立60周年記念VTRの上映や、市民自らへのメッセージとしてきずな計画に掲載されている詩の朗読を行い、これからの未来へのきずな活動の推進に向け、市民の想いをひとつにする機会となりました。なお、被表彰者等は次のとおりです。

## 登別市社会福祉協議会会長表彰

### 【社会福祉事業功労者】

須賀川信之、山道恵美子、廣瀬淑子、松本優子、河上治江、阿部忠雄、南部敏子、山田マリ子、辰口接子、田淵純勝、吉岡政美、佐々木憲司、和田卓士、高橋正子、境 幸子、小山内初美、阿部三男、須貝直子、伊藤信一、藤江 怜、小笠原 康、荒川昌伸、竹中洋子、小関憲勝、佐賀野禎美、鈴木耀夫、竹内信子、有金澄雄、山本 公、荒生勇司、瀧川正義、早坂産業株式会社

### 【社会福祉援助功労者・団体】

今 順子、旬の華和か菜、社会福祉法人彩咲会ケアハウスアンデルセンの丘、社会福祉法人登別さいわい福祉会就労継続支援施設月とらいおん、医療法人社団とんけし耳鼻咽喉科クリニック、金毘羅寺、い

ぶり中央漁業協同組合本所、自治労登別市職員労働組合、海老名飛鳥ライオンズクラブ、株式会社ほっこうハウス

## 登別市共同募金委員会会長表彰

### 【永年奉仕者】

横尾逸郎、太田 通、田淵純勝、小沢裕美子、中原義勝

### 【永年寄付者】

株式会社室蘭典礼社平成斎場幌別記念ホール、上田商事株式会社

### 【優良団体】

1. 戸別募金  
はまわし町内会、新川第二町内会、登別温泉日和山町内会、中央町三丁目町内会
2. 職域募金  
イオン北海道株式会社イオン登別店



また、同日に行われたふれあいフェスティバルではボランティア体験ブースや屋台、手話歌の発表、豪華景品の当たる抽選会等が行われ、大いに盛り上がりを見せました。

60周年の契機に参加者が気持ちを新たにするとともに、ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

このたび、多年にわたり社会福祉の増進に寄与し、功労のあった次の皆さんが全道・全国表彰を受賞されました。おめでとございます。

## 北海道知事表彰

【北海道社会員献賞（民生委員・児童委員）】

川島芳治、筑野榮子、大島重壽、山口 登、桑井孝子

【北海道社会員献賞（共同募金運動奉仕者）】

雨洗康江

【北海道社会福祉協議会会長表彰】

【社会福祉協議会役員】 田代健二

【北海道共同募金会長表彰】

【共同募金運動永年勤続奉仕者】 中原義勝

【全国民生委員児童委員連合会会長表彰】

【永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰】

千葉一男

【永年勤続民生委員・児童委員表彰】

荒川昌伸、高橋正子

氏名は順不同、敬称略にて掲載しております。



# 歳末たすけあい運動が

# 始まります



**運動期間** 12月1日(日)～12月31日(火)まで

**目標額** 550万円

## 歳末たすけあい運動とは？

「歳末たすけあい運動」は、毎年12月に共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人たちが安心して暮らすことができるよう、様々な福祉活動を重点的に展開する運動です。

期間中に皆さんからお寄せいただく募金は、すべて登別の福祉活動に活用されます。

## 募金になぜ目標額があるの？

共同募金は、社会福祉法という法律に位置付けられた民間の募金活動であり、事前に使いみちや集める目標額を定めています。

このまちの地域福祉活動を充実させるため必要な計画を立て、目標額を公表することが法律で義務付けられている全国的な募金運動です。

## このような事業を支援するために募金活動を行います

- ◆ **歳末見舞金贈呈事業**  
経済的支援が必要な世帯等へ見舞金を贈るために。
- ◆ **ふれあい会食会事業**  
地域の中で見守りが必要な高齢者等とのつながりを深めるために。
- ◆ **きずなのまちづくり助成事業**  
地域福祉実践計画「きずな」の趣旨に基づき、市民団体等が行っている活動への助成のために。
- ◆ **ふれあい・いきいきサロン事業**  
高齢者等の生きがいと居場所づくりを進めるために。
- ◆ **小地域ネットワーク活動推進事業**  
町内会による見守り・支え合い活動を広げるために。
- ◆ **地域の支えあいづくり創出事業**  
地域福祉の拠点づくりに対する支援を行うために。
- ◆ **地域福祉推進運営事業**  
きずな活動や地域福祉事業を推進するために。
- ◆ **在宅介護支援事業**  
制度を利用できない人へ車いすや福祉用具の貸出を行うために。

## 主な募金方法

登別市共同募金委員会では、町内会のご協力のもと各世帯に歳末たすけあい運動の啓発チラシと募金用封筒を配布して協力の呼びかけを行います。11月中旬以降にご案内いたしますので、皆さんのご協力をお願いいたします。





# 赤い羽根でつながる優しさの輪

## 登別ならではの取り組みを 始めてみませんか

共同募金運動は、じぶんの地域をより良くするため、募金活動への参加や寄付を通じて応援していく民間の運動です。

活動の参加方法も様々なものがあります。できるカタチで一緒にこのまちを想い、優しさの輪を広げてみませんか。

道内プロスポーツチームにも、北海道の福祉活動推進への貢献を目的に運動を応援してくれるサポーターがいます。  
その登別版のサポーターとして「登別市少年軟式野球連盟」の皆さんが協力してくれています。市内の大会で横断幕を掲げてくれました！



### 《取り組みの一例》

#### ◆赤い羽根の着用で運動の啓発

赤い羽根を着用することで、共同募金運動のPRに繋がります。登別市や市議会、教育委員会の皆さんにも毎年赤い羽根を着用いただき、来庁者の方へPRを行っていただいています。

#### ◆ポスター掲示でPR！

施設・企業・事業所・商店等にポスターやのぼり旗の広報掲示をする取り組みです。共同募金運動を広く市民に啓発するために、ポスター1枚から始められる協力のカタチです。



illustration by つかさ  
©Crypton Future Media,INC. www.piapro.net piapro

#### ◆募金型自動販売機の設置

商品の購入代金の一部が募金となるしくみです。現在、市内では3か所に設置されています。あなたの企業や団体等でも、ぜひ設置してみませんか。

#### 【設置企業・団体】

- ・ホテルゆもと登別
- ・登別市社会福祉協議会
- ・社会福祉法人ホー
- ・フロンティア登別



#### ◆登別オリジナルの寄付金付き商品の開発

法人や企業で制作している商品とのコラボや、手作りの品物を寄付金付き商品にすることもできます。現在、市内で行われている取り組みを紹介します。

#### 〈寄付金付き鉢花〉

平成29年度より、「はまわしの会」の皆さんが育てたお花を、寄付金付き商品として提供いただいています。

今年度は、ふれあいフェスティバルのイベント募金ブースにおいて、100円以上の募金をいただいた方に頒布しました。

#### 〈寄付金付きバッジ〉

日本工学院北海道専門学校との学生さんに協力をいただき、寄付金付きバッジを制作しております。

今年度よりバッジデザインコンテストを開催し、その授賞式をふれあいフェスティバル内で行いました。

バッジは現在も取り扱いをしておりますので、ご希望の方は本会までご連絡ください。

#### 《商品取扱い場所》9月12日現在

- 登別市役所内母子会売店・登別パークサービスセンター売店・登別市社会福祉協議会



### お問合せ先 登別市共同募金委員会

電話：88-10860 FAX：88-14546

## 市民オープン講座

## 傾聴ミニラボオーラム開催

登別市内では町内会活動やサロン活動、小地域ネットワーク活動等を現在積極的に展開しています。そのような活動の中では、相手に寄り添うことや丁寧な関わりが求められる場面も多くあります。



相手の話に丁寧に耳を傾ける「傾聴」には、安心感や温かさ、また人間関係を豊かにするヒントが隠されています。この機会に傾聴の奥深さについて学んでみませんか。

**日時** 11月11日(月)  
10時～11時半(受付9時半)

**会場** 登別市民会館 2階中ホール

**講演** 傾聴とは  
『自分から歩み寄る』こと

**講師** 北海道総合福祉研究センター  
理事長 五十嵐 教行 氏

**参加費** 無料

**対象** 事前のお申し込みでどなたでも参加可能

**特典** 参加者全員に学びを深める冊子「傾聴の手引き」を無料配布

**申込** 11月5日(火)までに電話またはFAXにて登別社協まで

## 鷺別小学校区で

## 鍵預かりサービス事業スタート!

登別社協では、市内福祉施設の協力のもと、鍵預かりサービス事業を平成28年度から実施しています。この事業は、75歳以上の一人暮らし高齢者や認知症、障がい等がある方の鍵を事前にお預かりし、連絡が取れない、新聞が溜まっている、夜でも灯りがつかない等の異変に地域住民が気付いた際、地域の事業協力が協力福祉施設へ鍵を取りに行き、家屋内に入り安否を確認することができます。

8月29日、社会医療法人友愛会 恵愛病院と協定を締結し、新たに鷺別小学校区において事業を実施することとなりました。恵愛病院の村下十志文理事長からは「高齢単身者や高齢夫婦世帯が増えているため、地域包括ケアシステムの一環として、鷺別地区の見守りや助け合いに協力していきたい」とのコメントが寄せられました。



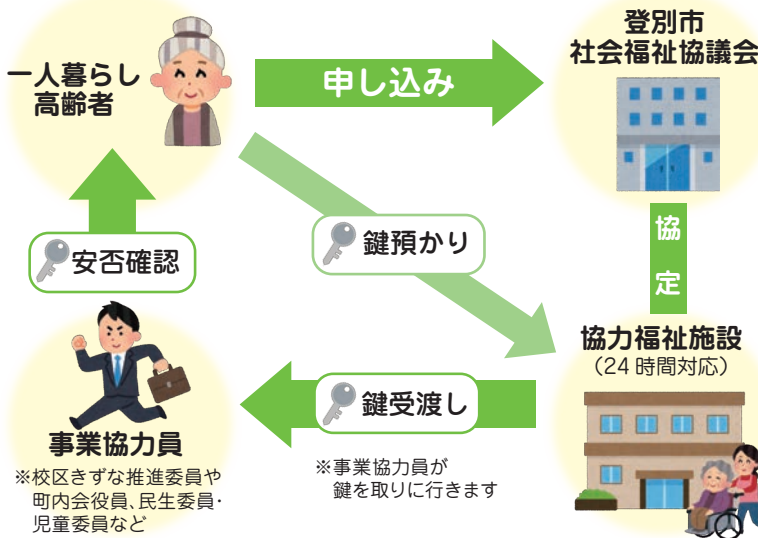
▲協定締結式の様子

費用は無料で

すので、対象地区にお住まいで利用希望のある方は、登別社協(88-10860)までお問い合わせください。



### 鍵預かりサービス事業の仕組み



### ■市内協力施設(対象校区)

- ・ 特定医療法人社団千寿会 小規模多機能型居宅介護事業所みずばしろう(登別小学校区)
- ・ 社会福祉法人友愛会 特別養護老人ホームわかくさ(若草小学校区)
- ・ 株式会社三樹 介護付有料老人ホーム・ジュネス(幌別中学校区)
- ・ 社会医療法人友愛会 恵愛病院(鷺別小学校区)



## 明日生との意見交換が行われました

7月22日、登別明日中等教育学校において、4回生・5回生（高校1・2年次）の生徒が感じる地域における課題やテーマについて町内会や民生委員・児童委員等と交えた意見交換が行われました。



幌別西小学校区きずな推進委員会において「若い世代との関係性を構築していく必要がある」との意見が挙げられたこと、また、同校が文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を今年から3年間受託したこと等があり、このような場の実現に至りました。当日は生徒の柔軟な発想や地域住民の想いが活発に話され、和やかな雰囲気の中、有意義な意見交換の時間となりました。

参加した地域住民からは「楽しかった」「若い世代から直接声を聞くことはあまりないので大切な取り組みだと思う」といった声が聞かれました。

### 地域との協働による高等学校教育改革推進事業とは

高校が自治体や業界団体等と連携して、地域課題の解決を図る取り組み。目的別に細分化されており、登別明日中等教育学校は地域を支えるリーダーの育成に向け、設定したテーマを基にした体験活動から課題解決を図る「グローバル型」の指定を受けている。

## まじまじのまぢびと

このコーナーでは、地域で精力的に活動されている方のきずな活動に対する想いや、これからの活動の展望などをお伝えします。  
今回は、幌別西小学校区きずな推進委員会のリーダーも務められている、新和会会長の島田 幸一さんにお話を伺いました。

### 「住民皆が笑い合える地域を目指して」

新和会会長 島田 幸一さん（富士町）



20代の頃から町内会の少年野球チームの監督を務める等、町内会活動に関わり始めました。そこから仕事等で忙しく一時離れたこともありましたが、50代の頃から町内会副会長を、6年前からは町内会長を務めています。きずな活動に関わったのは町内会長になってからでしたが、これからは地域での支え合いが必要な時代であると私自身も感じていたことがきっかけとなりました。

今年度、幌別西小学校区きずな推進委員会としては、登別明日中等教育学校の生徒達と交流の機会を持つことができ、また、幌別西地区連合町内会としては9月に幌別西小学校、西陵中学校も交えての避難訓練を実施しました。町内会独自にも夏祭りやクリスマス会等の子ども向けの行事は多く、そこには親御さんやおじいちゃんおばあちゃんも一緒に参加してくれることがあり、温かな時間となっています。

「まちびとには、登別のまちの人、問題と人をマッチングさせる人、布の長さを補うまちのように地域を補う人という意味が込められています」

その中でも町内会の特徴的な行事は、6月から9月まで行う100日間のラジオ体操です。朝の6時半から、公園を会場に皆でラジオ体操をします。普段は60名程の参加者で大半が高齢者ですが、夏休み期間には子ども達や親御さんの参加もあり、多い日には100名以上が集まります。私が理想だと考えるのは、向こう三軒両隣で互いに気に掛け合いながら見守り合う、そんな交流のある地域です。毎日のラジオ体操に通う中で顔見知りが増え、地域の中に温かな交流が生まれていくことを願っています。

私は未だに福祉とは何であるのか、難しい部分はよくわかっていません。しかし、福祉とは地域に暮らす子ども達から高齢者まで、みんながここに嬉しそうに笑ってくれることではないかと考えています。地域での活動に関わっていて嬉しい瞬間は、やはり「ありがとう」と言ってもらえた時です。1番シンプルなことですが、その一言だけで充分だと感じられます。

義務感だけでは地域活動は続きません。自分自身も、そして周りの皆さんも楽しめるよう、肩ひじを張らず柔軟にやってみることを大切にしています。

# 登別の子ども食堂



## かえる食堂

**運営主体:** NPO法人ゆめみ〜る  
**開催日:** 毎月第2、第4日曜日 11時~14時  
**場所:** 地域食堂ゆめみ〜る  
**対象:** 幌別東小学校区に住む子ども等  
**内容:** 食事の提供 (高校生以下無料、大人300円)、レクリエーション等

## 子ども食堂

**運営主体:** 登別WATの会  
**開催日:** 不定期のため、担当須藤氏 (090-6997-8256) までお問い合わせください  
**場所:** 登別中央福音協会  
**対象:** 子どもを中心に地域、年齢問わずどなたでも  
**内容:** 食事の提供、レクリエーション等

## 子ども食堂とは

子どもに対し、大勢で温かな食事を囲む喜びや、バランスの良い食事を提供することを目的に開かれる食堂や取り組みのこと。現在全国の市町村に広がりを見せており、子どもだけでなくその保護者や近隣住民も参加する場合や、学習支援、余暇活動も含む場合等、地域性に合った形で取り組まれている。

9月17日、登別社協へ寄贈があり、市内の子ども食堂を運営しているNPO法人ゆめみ〜ると登別WATの会へ、お菓子や日用品の配分を行いました。受け取られた団体や法人からは、「大変ありがたい。子ども達のために活用させていただきます」「本当に助かります。ありがとうございます。子ども達です」等の言葉が寄せられました。

セブニーレブン・ジャパン、北海道社会福祉協議会、北海道では、店舗の改装時や閉店時等に発生する在庫商品の一部を地元の社協に寄贈し、地域の必要団体や法人等に提供する「商品寄贈による社会貢献活動寄贈品に関する協定」を締結しています。



▲寄贈品を受け取った登別WATの会の様子

セブニーレブン・ジャパンより  
寄贈を受けました



## 寄付者のご紹介 (2019年8月1日~2019年9月30日)

(敬称略/単位:円)

受領年月日	寄付者名	寄付金額	寄付の目的
2019.08.01	匿名	1,020	会議の費用弁償を社会福祉のために
2019.08.01	匿名	2,240	会議の費用弁償を社会福祉のために
2019.08.07	幌別地区ビールパーティー実行委員会	273,210	第35回幌別地区ビールパーティーの益金を社会福祉のために
2019.08.09	石坂光汰朗	4,133	社会福祉のために
2019.08.09	匿名	504	社会福祉のために
2019.08.22	登別地区ビールパーティー実行委員会	104,800	第34回登別地区ビールパーティーの益金を社会福祉のために
2019.08.28	今 順子	10,000	登別市社会福祉協議会創立60周年を記念して社会福祉のために
2019.09.01	匿名	12,775	社会福祉のために
2019.09.06	匿名	200	社会福祉のために
2019.09.10	匿名	3,000	社会福祉のために
2019.09.13	わしこうD愛好会	10,000	第23回ダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために
2019.09.15	鷲別エリア歌謡交流会実行委員会	10,000	チャリティチャレンジ歌謡交流会の益金の一部を社会福祉のために

## 愛の小箱等設置協力者のご紹介 (2019年8月1日~2019年9月30日)

(敬称略/単位:円)

受領年月日	設置協力者名	寄付金額	種別
2019.08.19	いずみ亭	23,111	愛の小箱
2019.08.28	協同組合登別中央ショッピングセンター	2,500	愛の小箱 (ガチャガチャ)
2019.09.27	協同組合登別中央ショッピングセンター	5,000	愛の小箱 (ガチャガチャ)

上記期間にお届けいただいた団体等のみ掲載しています。